

信越トレイル 鍋倉山・斑尾ハイキング

2020年10月24日～25日

参加者 CL:丸山 N、SL:渡 M、千葉、加藤(S、鈴木 K、山口、青柳、北村

コースタイム

【24日】松戸 6:00＝関田峠 11:20－黒倉山 13:00－関田峠 14:35＝なべくら高原森の家 15:30

【25日】なべくら高原森の家 6:40＝沼の原湿原駐車場 7:30－柏ヶ峠 10:10－袴岳 10:35－万坂峠 11:57－沼が原湿原駐車場 12:37＝松戸 20:45

10月24日(1日目) (北村記)

3月の四阿山以来八ヶ月振りに4時過ぎに起き(この歳になると目が覚めることはあるが起きたりはせずそのまま又寝てしまいます)山仕度して市民劇場前へ向かう。予定通り6時に出発。ところが土日が好天に恵まれるのは(晴女に晴男がいるからでしょうか?)何週間振りとかで、外環道から関越道に入ると時々渋滞が発生、早朝の下りで渋滞するのは初めてです。上信道では順調に走ることができた。高速



黒倉山から関田峠へ下山

を降りて国道115線を走ると沿線の山麓はまだ緑の状態。国道から離れて県道に入ると中腹は紅葉真っ盛りでとても綺麗で車内から十分に楽しむことができた。関田峠直下の茶屋池湖畔コース経由で黒倉山へ向かう。湖畔は黄色の紅葉が多く最盛期のように差し込む陽にそこだけ照明に照らされているかの如く素晴らしい。湖畔から100m程高度を上げ稜線に出ると既に紅葉は終わって落ち葉の絨毯だ。葉を落とした木々は上に伸びず横に這って所々で道を塞いでいる。冬の日本海からの季節風を最初に受け止める稜線であり降雪量も相当なものであろうことが容易に想像できる。今日の気圧配置は一時的に冬型で稜線北側の越後平野とその奥の日本海には季節風による雲があり時折小雨がパラついたが山越えした信州側では消えている。緩やかな傾斜の道を亀の足のごとくゆっくり登り黒倉山山頂に着く。計画ではここから鍋倉山まで行く予定であったが登山口到着が遅くなったことと病み上がりの私のペースに合わせていただいたため1時間程遅れてしまい中止して下山することになる。今日のコースは黄色系の紅葉が多く見頃で特に樺の紅葉は素晴らしく、思わず「オー！、綺麗！」と感嘆の声が連発しカメラのシャッターを押しまくった。今日の宿は「なべくら高原森の家」で外観はドングリの実を縦にカットした断面のような洒落た造りである。和室のある男性用の棟で丸山Nさん、鈴木KさんがBBQ用に事前に仕込ん



でいただいた肉や野菜を炭火で焼き始める。焼き人はもちろん鈴木 K さんで絶品の焼き加減で宴会が始まる。各自秘蔵の本醸造酒が出るわ出るわ、もう宴会は大賑わい。



一さんが仕込んで焼いてくれた絶品のお肉と持参した米ジュースの一部

宴会場になる今日の宿

これもお二人の事前の準備のお陰だ。感謝、感謝！です。ありがとうございます。しかしその頃、外は一時的な季節風で強風と雨になっていた。でも明日の天気の手配は全く無しです。

10月25日(2日目)(加藤記)

目覚めは、なべくら高原森の家から始まった。男性は E 棟、女性は F 棟 まだ夜が明けたばかり、うす暗く静かである。雨音は聞こえない。朝食の準備に、E 棟にいそいそと「おはようございます！」ドアを開けると何やら美味しそうな、いい匂い、あれれ！……？カレーが出来上がっていました。聞くところによると丸山 N さんが早朝から作ってくれたカレーです、恐縮しちゃいますね。私たちは直ぐに頂くことができました。昨晩に続き、とても美味しく弟子入りしたいくらいです。

沼の原湿原を7時45分に出発する。雲が切れて青空が広がってきました。昨日の、県境界の稜線歩きは、



日本海からの風や風雪によって木がくねくね曲がって、地べたにくっつきそうな枝ぶりが多かったのに、今日の山は、木が真っ直ぐ高く伸びている。カエデの仲間が多くブナの黄色、かえでのミカン色、橙色の紅葉が果てしなく広がり、自然界の移り変わりを堪能です。

遊森の里まで来た時に、北村さんが「休会して初め



ての山なので、この先は無理せず戻ります」とのこと、サブリーダーの渡辺さんと共に戻られました。私たちは袴岳に向かいます。しばらくすると、目の前に黄金色した丸い山が現われました。袴岳です。登山道は落ち葉がつもり、葉っぱを見ていると、ブナの木がいっそう多いです。足裏にやさしい

白樺の群生は幻想的で印象深く、ジグザグの登山道を登りきったところが、袴岳の頂上でした。
飯綱山、戸隠山、妙高、黒姫山、山肌は白く雪を抱き、素晴らしい景色を見られたのはラッキーでした。
あとは下るだけで、気を抜かないようにしなければと思いつつ、イヤービックリ！山の会元気軍団 4 人とバ



ツタリ出会いました。(吉田さん、和田さん、鈴木さん、松藤さん)

笑いと歓声で、静かな山が賑やかになって、うれしいやら、なつかしいやら、山の中の出会いって、異常なほど嬉しいものです。コロナでお会いする機会がなかったので、なおさらうれしかったのです。

万坂峠からは、春から夏はたくさんの花が咲き乱れる、沼野原湿原の中を通り、二人が待つ駐車場に着きました。下山後、汗を流し蕎麦屋に寄り、道の駅の買い物は楽しみの一つです。

サアGO-TOの影響の渋滞はいかほどか？ やはり赤いテールランプの曲線が長く続いて大渋滞でした。

長時間運転して下さった皆様ありがとうございました。お疲れ様です。

皆様と初めての山行でしたが、貴重な楽しい2日間ありがとうございました。